



厚生労働省北海道労働局発表
令和元年 8 月 28 日

担
当

厚生労働省北海道労働局
職業安定部職業安定課
課長 本間 信 弘
課長補佐 小 林 一 哉
電話(011)-709-2311
(内線3674)

ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組にかかる総合評価について

厚生労働省北海道労働局では、ハローワークの機能強化を図るため、マッチング機能に関する業務の総合評価を実施しています。今般、平成 30 年度の実績が確定しましたので、主要指標の実績と各ハローワーク所長による分析や総合評価等を記載した就職支援業務報告を公表します。

全国の労働局・ハローワークにおいては、平成 27 年度から、①PDCAサイクルによる目標管理及び業務改善の拡充、②ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の実施及び公表、③全国的な業務改善に向けた取組の強化を一体的に実施し、一層のマッチング強化に取り組んでいます。北海道労働局においては、就職件数、求人の充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数等に係る目標値を設定し、この目標の達成に向けて、求職者担当者制の実施、応募書類の作成支援、面接指導、小規模面接会の開催、求人票の仕事内容欄の充実及び雇用保険受給者への来所勧奨相談などに取り組んできました。

平成 30 年度の主要指標の目標達成率は、就職件数 96.4%、充足件数 96.7%、雇用保険受給者の早期再就職件数 104.1%となっています。

今後も、業務の質の向上や継続的な業務改善を図り、ハローワークに対する信頼の向上に努めてまいります。

平成30年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の主要指標の実績

項目 所別	就職件数(常用)					充足件数(常用)					雇用保険受給者の早期再就職件数				
	目標値 30年度 ①	実績値 30年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 29年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③	目標値 30年度 ①	実績値 30年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 29年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③	目標値 30年度 ①	実績値 30年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 29年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③
北海道労働局	62,200	59,983	96.4%	63,585	94.3%	61,200	59,209	96.7%	62,806	94.3%	22,596	23,528	104.1%	23,666	99.4%
札幌所	8,931	8,770	98.2%	9,490	92.4%	10,312	10,190	98.8%	10,820	94.2%	2,965	3,273	110.4%	3,162	103.5%
札幌東所	7,075	6,810	96.3%	7,241	94.0%	6,555	6,288	95.9%	6,778	92.8%	4,238	4,410	104.1%	4,431	99.5%
札幌北所	5,077	4,557	89.8%	5,082	89.7%	5,459	5,087	93.2%	5,607	90.7%	2,957	3,089	104.5%	3,057	101.0%
函館所	6,033	5,623	93.2%	5,991	93.9%	5,668	5,358	94.5%	5,695	94.1%	1,934	2,044	105.7%	2,094	97.6%
旭川所	4,534	4,397	97.0%	4,766	92.3%	4,462	4,272	95.7%	4,667	91.5%	1,885	1,865	98.9%	1,898	98.3%
帯広所	3,732	3,646	97.7%	3,634	100.3%	3,771	3,697	98.0%	3,627	101.9%	1,286	1,411	109.7%	1,349	104.6%
北見所	2,398	2,404	100.3%	2,409	99.8%	2,159	2,217	102.7%	2,244	98.8%	731	754	103.1%	764	98.7%
紋別所	509	538	105.7%	540	99.6%	463	467	100.9%	468	99.8%	116	144	124.1%	118	122.0%
小樽所	2,259	2,196	97.2%	2,264	97.0%	2,184	2,108	96.5%	2,187	96.4%	755	692	91.7%	740	93.5%
滝川所	1,962	1,870	95.3%	1,930	96.9%	1,741	1,620	93.0%	1,691	95.8%	478	452	94.6%	477	94.8%
釧路所	3,432	3,322	96.8%	3,434	96.7%	3,296	3,148	95.5%	3,330	94.5%	964	917	95.1%	1,042	88.0%
室蘭所	3,306	3,071	92.9%	3,307	92.9%	2,997	2,824	94.2%	3,036	93.0%	727	705	97.0%	705	100.0%
岩見沢所	1,710	1,459	85.3%	1,691	86.3%	1,511	1,319	87.3%	1,536	85.9%	478	479	100.2%	474	101.1%
稚内所	807	900	111.5%	925	97.3%	739	847	114.6%	848	99.9%	190	222	116.8%	214	103.7%
岩内所	918	926	100.9%	970	95.5%	874	883	101.0%	945	93.4%	218	216	99.1%	210	102.9%
留萌所	552	557	100.9%	487	114.4%	494	509	103.0%	440	115.7%	128	115	89.8%	127	90.6%
名寄所	960	1,034	107.7%	990	104.4%	873	919	105.3%	923	99.6%	194	205	105.7%	221	92.8%
浦河所	912	921	101.0%	940	98.0%	860	873	101.5%	888	98.3%	140	186	132.9%	164	113.4%
網走所	592	666	112.5%	665	100.2%	577	625	108.3%	648	96.5%	184	209	113.6%	229	91.3%
苫小牧所	3,244	3,029	93.4%	3,358	90.2%	3,191	2,901	90.9%	3,204	90.5%	942	963	102.2%	1,006	95.7%
根室所	1,135	1,230	108.4%	1,271	96.8%	1,032	1,117	108.2%	1,171	95.4%	244	302	123.8%	297	101.7%
千歳所	2,122	2,057	96.9%	2,200	93.5%	1,982	1,940	97.9%	2,053	94.5%	842	875	103.9%	887	98.6%

※1 就職件数(常用)は、ハローワークの職業紹介により常用就職した件数(常用とは、雇用期間の定めのない仕事、または4ヶ月以上の雇用期間が定められている仕事をいいます。)

※2 充足件数は、北海道内の各ハローワークで受理した常用求人充足件数

※3 雇用保険受給者の早期再就職件数は、基本手当の支給日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数

ハローワーク札幌 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ① 初回講習の見直し、職業相談窓口への誘導、オリジナルセミナーの実施による雇用保険受給者への関わり強化。
- ② マッチング班の積極的な活動を中心に「札幌圏求人充足・マッチング強化事業」の進捗管理と検証の継続実施による求人充足促進。
- ③ 「人材確保対策コーナー」（平成 30 年度新設）による人手不足分野に対するマッチングの促進。
- ④ BUS（ブラッシュアップシリーズ）として実施する所内研修（求職者サービス研修、求人充足サービス研修、勘コツの「見える化」体験等）による所員の資質向上。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ① 雇用保険受給者への関わり強化
 - ア 初回講習の見直し（非正規求人が半数以上を占める状況の理解、雇用保険の受給と求職活動がセットであることの理解、求職活動を早めに行うことのメリットの理解をより促進する内容に見直し。）。
 - イ 職業相談窓口への誘導強化（サインージ、リーフレット、求人公開端末のテロップの見直しによる効果的な誘導。）。
 - ウ オリジナルセミナーの継続実施（応募書類作成セミナー、採用する側である企業の視点を盛り込んだセミナーの見直しによる効果的实施。）。
- ② 求人充足の促進

「業界を知る訪問研修」の継続実施による企業との顔の見える関係の構築、業界の情報を知ることによるマッチング及び求人充足サービスのためのスキルアップ。
- ③ 人材確保対策分野への求職者の誘導

労働局との連携による関係業界を巻き込んだ各種支援策の実施（企業説明会、職場見学会及び就職面接会の開催、求人の充足支援の実施。）。
- ④ 所員の資質向上

それぞれの研修とも受講者の満足度は高く、こうした取組の継続が所員の資質向上のみならず、相談員の信頼を得る機会にもなり得

るため、次年度においても札幌3所との連携を含め実施を強化する。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

- ① これまでの取組の定着と継続実施
 - ア 雇用保険受給者への関わり強化
 - イ 求人充足の取組強化
 - ウ 人材確保対策コーナーにおける支援の更なる充実
 - エ マザーズハローワークにおける雇用保険業務の実施
 - オ 職業訓練相談コーナーの支援体制拡充と利用者誘導強化
 - カ 所員の資質向上

(4) その他業務運営についての分析等

- ① 一体的運営業務の展開
 - ア 地理的利便性を生かして求職者支援に成果を上げているあいワークの業務運営
 - イ 北海道ビジネスサポートハローワークにおける求人充足に視点を向けた業務拡充
 - ウ ジョブカフェとの連携

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	公的職業訓 練の修了3 ヶ月後の就 職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	8,770	10,190	3,273	78.9%	89.1%	20.4%	17.0%	726	2,323	92.3%	736	1,622
目標	8,931	10,312	2,965	90.0%	90.0%	22.0%	18.1%	705	2,321	92.1%	578	1,564
目標達成率	98%	98%	110%			92%	93%	102%	100%	100%	127%	103%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク札幌東 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

ア 職業相談窓口活性化の取組

当所では、雇用保険受給者を含む一般求職者が減少する中、「雇用保険受給者の早期再就職に資する取組の実施」の目標達成を最重要と考え、受給資格決定時の新規求職登録時に、ハローワーク活用のメリットや早期就職の重要性、再就職手当の活用促進について詳しく説明することにより、再就職の意識の向上を図り、初回認定日での相談窓口への円滑な誘導につなげたほか、平成 30 年 10 月 29 日から初回に加え 2 回目の認定日に来られた雇用保険受給者全員との職業相談を実施し、職業相談窓口の活性化を図り、認定日における全受給者の職業相談実施割合が 39.4%と、実施前月の実施割合 27.7%を上回ることができました。

そのほか、「正社員就職件数」の目標達成に向け、正社員求人を毎日ピックアップのうえ、各相談窓口において求職者へのダイレクトメールによる積極的な来所勧奨を図るとともに、就職支援として応募書類の作成や模擬面接を実施する「サポートコーナー」の活用促進を図りました。

イ 求職者のニーズに応じた個別支援の取組

個別支援専用窓口で実施している個別支援の取組を、平成 30 年度から個別支援専用窓口以外の窓口に拡大して実施しました。具体的には、相談窓口の混雑時間を避けた相談窓口の体制が比較的手厚い時間帯に予約相談による個別支援を実施し、本取組における就職件数 144 件と、目標の 90 件を大きく上回ることが出来たほか、就職率 78.7%の実績をあげることができました。

ウ 早期求人公開への取組

平成 29 年度から求人受理から公開までの処理に日数の縮減に向けて各種データの「見える化」を図っています。これらのデータから、今年度の各月、週、日の業務量を予測し、年間を通じ業務繁忙時期に効果的にスタッフを配置した結果、一時的に増加する公開までの日数の短縮に繋がりました。

エ ミニ会社説明会・面接会

平成 29 年度から実施要領を策定して全所体制で実施しています。実質 2 年目となり利用実績を重ねる運輸業の事業所の他、介護・運送業と職種も拡大して実施しました。最近では新規で利用したいとの事業所からの問い合わせも多くなっています。利用実績は年度目標 40 回に対して 79 回の開催となっており大きく目標を上回りました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

より多くの求職者の方が窓口を活用した相談が行えるよう、求人検索コーナー受付で窓口利用の声掛けと、当所で独自に作成したリーフレット「ご希望の職種の求人をその場でお調べします！」を配布し、職業相談窓口を利用するメリットを伝えたほか、平成 30 年度から、新たに当所で独自に作成したリーフレット「再就職手当を活用しましょう」を雇用保険受給者に対して配布し、再就職促進を図ったことで、雇用保険受給者の早期再就職件数は昨年と比べ増加しました。

そのほか、サポートコーナーで実施している所独自の就職支援セミナー（書類作成コース・面接コース）を積極的に周知することで、昨年度と比べ参加人数が 281 人、60.6%増加しました。さらに、ハローワークの利用拡大を図るために、平成 30 年度から新たに「ハローワーク活用ミニセミナー」を実施したことで、セミナー参加人数の総数が昨年度と比べ 467 人、166.9%増加したほか、サポートコーナー利用者の就職件数、就職率とも昨年度と比べ増加しました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

同一労働市場圏である札幌三所（ハローワーク札幌・ハローワーク札幌北・ハローワーク札幌東）が連携し、前日受理した求人の中から、求職者の方の希望の多い正社員の求人を選定し、札幌三所において共有を図り、各ハローワークがダイレクトコール、ダイレクトメールによる来所勧奨を実施するなどの、積極的かつ能動的なマッチングを平成 31 年度も引き続き展開し、その拡大を図ることとします。

人手不足分野である福祉（看護、介護、保育）、建設、運輸、警備の 4 分野の業種への就職促進を図るために、関係機関との連携をさらに進め、4 分野への求職者の知識・興味を深められるよう有用な情報の提供に努めます。平成 30 年度から、会場を当所として実施している「北海道福祉人材センター」が行うセミナーや出張相談を令和元年度も引き続き実施するほか、令和元年度から、「北海道ナースセンター」が行う就業相談会を当所を会場として、新たに実施することで、さらなる人材確保対策を推進します。

上記（1）のエ ミニ会社説明会・面接会の開催回数については目標を超えて実施しており開催事業所から概ね好評を得ていますが、説明会・面接会への参加者数が 254 件であったため、利用者に対する周知が今後の課題となっています。これを改善するためには、より積極的なダイレクトコール・ダイレクトメールの活用や雇用保険受給者の相談窓口利用時の誘導等の強化を図ることとします。

(4) その他業務運営についての分析等

上記(1)のウ 早期求人公開への取組に活用した「見える化」データを分析すると、求人公開までの日数の長短によって就職件数や充足件数に影響があると見られる数値もあり今後も引き続きデータを分析することとします。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期 再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポ ーターの支援 による正社員 就職件数	公的職業訓練修 了3か月後の就 職件数	マザーズハローワ ーク事業の担当者 制による重点支援 対象者の就職率	正社員求 人数(必須 指標)	正社員就 職件数(必 須指標)
実績	6,810	6,288	4,410	76.7%	96.0%	18.2%	13.5%	490	839	359	775	93.7%	25,313	3,155
目標	7,075	6,555	4,238	90.0%	90.0%	20.3%	14.8%	488	753	348	638	92.1%	25,604	3,378
目標達成率	96%	95%	104%			89%	91%	100%	111%	103%	121%	101%	98%	93%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク札幌北 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求職者数は減少し、求人数が増加の傾向で推移している中、当所では、「就職件数」、「充足数」及び「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成が最重要と考え、特に重点的に進めることとしました。就職促進を図る取組としては、求職者（雇用保険受給者を含む）の立場に寄り添った丁寧な職業相談をはじめ、窓口でのマッチングによる求人情報の提供や個別支援など就職支援を積極的に実施するとともに、求職者担当者制の目標数を拡充し取組を進めました。

また、求人充足に向けた取組としては、定期的で開催している求人充足会議において検討する対象求人を増やし、求人受理部門、職業相談部門の所員が充足に向けた方向性を検討した上で、条件緩和対象求人や情報提供求人等に振り分け、充足可能性の高い求人は事業所訪問により求人票以上の情報を把握するとともに、それらの情報をハローワーク内で共有し、求職者への情報提供や能動的なマッチング紹介など求人充足サービスに取り組みました。

さらに、正社員求人数が減少傾向にある中、正社員求人を対象として実施している求人担当者制をより強化するため、求人受理部門、職業相談部門が連携し、窓口や事業所訪問時等機会あるごとに正社員求人のメリットについて、丁寧に説明を行い正社員求人の確保を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・定期的にミニ面接会を開催する取組のひとつとして、ハローワークが自信をもってお勧めできる求人（労働基準法遵守、福利厚生面など労働条件が良い、資格条件不問等）を対象とした「プレミアム企業説明会」を6回開催し、参加者44名中、10名正社員採用に繋げることができました。

- ・求職者から事業所の詳細情報の提供について期待が高いことから、事業所情報の発信ツールとして、360°のVR画像により就業場所や作業風景を視覚情報として提供する取組を実施しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・求人充足サービスを更に充実させるため、増加する高齢者層などのニーズに応じて、正社員以外の求人に対しても事業所訪問による詳細

な情報収集や求職者への情報提供の取組を進めます。

- ・介護、運輸などの人手不足分野について、定期的なミニ面接会を開催します。
- ・ハローワークが自信をもってお勧めできる求人を対象とした「プレミアム企業説明会」については、求人者と良好な関係を構築し、求人者・求職者双方の安心感にもつながり、職場定着も期待できることから引き続き積極的に実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求職者の減少傾向が続く中、雇用保険受給者に対しては、早期再就職に向けた個別支援及び認定日相談時におけるマッチングの実施や支援メニュー・早期再就職のメリットの説明、給付制限対象者への来所勧奨など引き続き力を入れて取り組んでいきます。

また、高齢者層の求職者が増加しており、ニーズの高い正社員以外の求人についても求人充足会議の対象求人として取り入れ、求人充足サービスを実施するなど、高齢者層の求職者の就職促進を図るべく具体的な取組を検討していきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対 する紹介 率	求職者に 対する紹 介率	生活保護 受給者等 就職件数	障害者就 職件数	学卒ジョブ サポーター の支援によ る正社員就 職件数	公的職業 訓練の修 了3ヶ月後 の就職件 数	正社員求 人数	正社員就 職件数	介護・看 護・保育 分野の就 職件数
実績	4,557	5,087	3,089	82.5%	93.4%	18.2%	13.4%	636	535	314	442	19,181	2,391	888
目標	5,077	5,459	2,957	90.0%	90.0%	20.1%	14.9%	714	530	261	390	21,353	2,606	960
目標達成率	89%	93%	104%			90%	89%	89%	100%	120%	113%	89%	91%	92%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク函館 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・求職者の減少傾向が続いていることから、一人一人の求職者に対する支援の充実を図るため、昨年度に引き続き求職者担当者制によるきめ細かな相談を行うこととし、特に今年度は、対象者に人材不足分野（福祉・建設・警備・運輸）希望者を加え、積極的に支援に取り組みました。
- ・雇用保険受給者への早期就職支援のため、引続き失業認定日における受給者全員との職業相談の実施・求人票の提供、給付制限中の来所勧奨、就職支援セミナーの実施等に取り組みました。
- ・求職者が減少している中であって、60 歳以上の求職者は男女とも増加率が高い傾向が続いているため、「生涯現役支援窓口での就職支援」を所の重点指標として新たに取り組むこととし、高齢者向けの求人確保とともに、高年齢者求人情報紙の作成・提供、高年齢求職者給付金受給者に対する認定日当日の相談窓口への誘導を、給付課との連携により実施するなど就職支援を図りました。

その結果、就職件数全体の目標達成率は 93%にとどまりましたが、担当者制による就職率は 68.3%と目標の 64.0%を上回り、雇用保険受給者の早期再就職件数では達成率 105.7%、生涯現役支援窓口の就職件数は達成率 132%となり、成果を上げることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・管内は、非正規雇用の求人割合が高いことから、正社員求人確保のため、正社員転換や要件緩和を提案するリーフレットを昨年度作成しましたが、その内容刷新を図り、求人受理窓口や事業所訪問時に働きかけを行うとともに、早期充足のための求人充足会議の開催や要領の見直しにより、求人内容や採用したい人物像等の詳細把握に努め、求職者への情報提供、適格紹介を行いました。
- ・自家用車を利用しないため通勤手段が限られるなど、特定地域を希望する求職者が多いことから、住所検索がし易いよう求人票の表記を工夫し、利便性を高めました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

平成 30 年度の取組を着実に進め、更なる改善・拡充を検討するほか、新たな取組としては、

- ・当所管内において従前より求人倍率が高く、人材不足分野である福祉、建設をはじめ、警備、運輸等でも人材不足が深刻なことから、「人材確保対策コーナー」を新たに設置し、事業所訪問等による求人条件見直し等の求人充足支援、事業所見学会や就職面接会の開催等により、充足促進に取り組みます。
- ・がん等の長期療養者の就職支援を行うため、管内のがん連携拠点病院と連携体制の構築を図り、長期療養者の希望に応じた就職支援を実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・管内の主要水産業であるイカの不漁が回復せず、また、昨年からの養殖ホタテの原因不明の大量死もあり、懸念していた水産物加工業者の倒産が4月から表面化してきました。水産加工業者を取り巻く厳しい環境は今後も続く見込みであり、小規模事業者を中心に体力的に厳しい局面になっていることから、今後の倒産情報や従業員の離職状況を注視し、対応を図ることとします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

管内の老舗百貨店が平成31年1月31日閉店することとなったことから、平成30年10月25日に「函館地域大量雇用変動等対策本部」を設置し、以下の対策を実施しました。

- ・平成30年11月1日：関係行政機関等による「函館地域雇用対策会議（8機関）」を開催し、今後の支援策を検討
(臨時相談窓口の設置、求人要請、求人開拓、各機関からの各種情報提供、合同相談会の開催等)
- ・平成31年2月12日：離職者合同相談会（7機関参加）
- ・平成31年2月27日：離職者雇用保険手続き（3機関参加）

※新規求職申込者数（平成31年3月末現在） 163人

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者就職 件数	マザーズハ ローワーク 事業就職率	正社員求人 数	正社員就職 件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	5,623	5,358	2,044	86.6%	94.7%	19.9%	16.7%	341	96.8%	14,734	2,533	109
目標	6,033	5,668	1,934	90.0%	90.0%	20.4%	17.6%	308	92.1%	16,203	2,466	82
目標達成率	93%	94%	105%			97%	94%	110%	105%	90%	102%	132%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク旭川 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「雇用保険受給者の早期再就職」の取組を最重要と考え、「求職者担当者制の実施」と「給付制限期間中の来所勧奨」を重点的に取り組みました。「求職者担当者制の実施」による支援対象者の就職率は、きめ細やかな職業相談や各種支援サービスの提供に努めた結果、目標 65%に対し 75.4%と取組目標を達成することができました。また「給付制限期間中の来所勧奨」については、給付制限中の求職活動の状況等を把握し、各々の状況に応じた支援サービスを提案するため、給付制限対象者に対して制限期間中の来所相談を確実に促したことにより、取組目標である相談率 50%に対し 60.7%と目標を達成することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

平成 30 年 6 月から、求人情報提供端末の利用にとどまる求職者等に対し、相談窓口の利用勧奨のために手交している「相談窓口利用勧奨リーフ」に、毎月当所で独自に作成している情報紙「リード」を添付し、管内の雇用失業情勢や面接会・就活セミナー等のイベント情報を提供しています。

平成 30 年 11 月から前日受理分新規求人の「求人情報一覧（速報版）」を作成し、雇用保険受給者の失業認定日の職業相談時に活用しています。

介護関係に特化した求人情報を作成し提供していますが、更に平成 30 年 8 月から資格・経験不問の介護求人情報を作成・提供することにより求職者への情報提供を強化しています。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

年度末に実施した自己就職者アンケート調査を基に、就職に至った経路等を把握分析する等により、職業相談窓口における求職者の態様やニーズの把握方法等を検討し、より一層積極的な就職支援サービスの提供に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

求人と求職のマッチングの強化が必要であると捉えております。そのため、求人充足会議の一層の効果的運営及び活性化を図ることに加え、介護、看護、保育、建設、運輸分野をはじめとする人手不足分野を中心に「ミニ面接会、管理選考」を積極的に実施することとしております。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数
実績	4,397	4,272	1,865	90.0%	98.8%	15.1%	14.9%	380	558	14,946	2,176	979
目標	4,534	4,462	1,885	90.0%	90.0%	16.7%	16.2%	339	522	14,504	2,243	1,064
目標達成率	96%	95%	98%			90%	91%	112%	106%	103%	97%	92%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク帯広 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では雇用保険受給者を主とした再就職支援の充実を最重点と位置づけ、的確なマッチング業務を実施することにより就職件数の目標達成に取り組みました。

具体的には、一定期間応募がない求職者等へ電話による来所勧奨の継続実施、給付制限期間中の来所勧奨の実施、担当者制によるきめ細やかな職業相談の実施等により、ハローワークへ足を運んでいただき、紹介率の向上を図る取組を行いました。

それにより、就職件数は目標の 97.7%と達成には至らなかったものの前年度の件数を上回り、また雇用保険受給者の早期再就職件数は目標を 9.7%上回る結果となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

45 歳以上の求職者が増加、中でも 55 歳以上のシニア層が増加している状況下において、平成 30 年度から当所に「生涯現役支援窓口」を設置し、主に予約制により相談時間の確保に努め、管内の雇用情勢の説明や応募書類の作成指導等のガイダンスの実施、一人ひとりのニーズに合った働き方の提案や求人の選定・情報提供等を行いました。

求人情報の提供に関しては、60 歳以上の方の採用に積極的な求人については求人検索機の特集項目に表示するとともに、求人一覧表を作成し月 2 回提供することとしました。それにより、55 歳以上の就職件数が 719 件（前年度比 143 件、24.8%増）と大幅に増加し、特に 65 歳以上が 198 件（前年度比 78 件、65.0%増）となっています。

また、職業相談担当スタッフの専門性向上や事業所との信頼関係構築を図るため、「職業相談担当スタッフによる事業所訪問」を 10 月より実施し、聴取した情報等を事業所管理情報に記録し今後の職業相談時のアドバイス等に有効活用していくこととしました（5 事業所、延べ 9 人が訪問）。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

当所においては平成 30 年度は求人数の増加が大きく、有効求人倍率が前年同月を上回る状況が続いています。

しかしながら、45 歳以上の求職者の増加や職種によって求人倍率に大きな開きが生じるいわゆるミスマッチの状況が継続しているため、引き

続き求職者に対して積極的な求人情報の提供を行う等ハローワークの利用を勧奨し、一人ひとりのニーズに対応した就職支援サービスを進めていきます。

求人者に対しては引き続き充足しやすい正社員求人の提出を促すとともに、求職者のニーズが高い求人条件や要件緩和により充足に至った事例を提供する等、充足数の増加に向けて取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

正社員就職を実現するため、当所における各種支援を実施するほか、帯広市が実施している「ジョブ・ジョブとかち（実践型地域雇用創造事業）」による支援のメリットを初回講習時や窓口で説明し登録を勧奨する等の連携を図ることで、一定の成果をあげています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	3,646	3,697	1,411	92.7%	93.1%	15.5%	14.2%	114	355	93.7%	11,587	1,511
目標	3,732	3,771	1,286	90.0%	90.0%	17.8%	14.2%	122	354	92.1%	11,109	1,565
目標達成率	97%	98%	109%			87%	100%	93%	100%	101%	104%	96%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク北見 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」については、来所者に対するきめ細やかな職業相談や再就職に関する適切な情報提供に努め、特に早期の再就職を希望する求職者に対しては、積極的に窓口でマッチングした求人や求人情報の提供を行なうとともに、求職者担当者制の充実に努めるなどの取組により、就職件数の目標を達成しました。

「充足件数」については、正社員求人や人材不足業種の未充足求人对策として、求人充足会議を充実させるとともに求人担当者制を実施しました。また、職業相談部門では、求職者に対し積極的な求人情報の提供、事業所部門では、求人者に対し求人条件の緩和指導を行いました。さらに、求人者には、当所会議室を利用した会社説明会の開催を勧奨するなどの取組により、充足件数の目標を達成しました。

「雇用保険受給者の早期再就職件数」については、初回認定日に窓口でマッチングした求人の提供や、給付制限対象者には求職活動状況をセルフチェックできる勧奨文を手交して給付制限中の来所勧奨をするとともに、各種セミナーや会社説明会への参加勧奨などの取組により、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標を達成しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職申込者及び有効求職者に占める中高年求職者が増加していることから、所内の求人掲示コーナーに、新たに「シニア歓迎求人コーナー」を設置し、求人票に「年齢を問わず活躍」などのアピール表示を付し、中高年求職者の目を引く取組を実施しました。また、月1回「中高年者向け求人情報」「高齢者向け求人情報」を作成し、相談時に情報誌の提供と併せてマッチングを実施し、中高年求職者の就職促進を図りました。その結果として、特に45歳以上の求職者の就職件数が昨年度に比べ70件（対前年度比7.9%）増加しました。

求職者担当者制の取組では、既に「応募書類の添削指導」を実施していましたが、応募書類の作成に不慣れな求職者に対し、新たに「応募書類の下書き作成を案内する」取組を実施しました。

「日刊ハローワーク求人情報」については、紙面レイアウトを見直し、記載文字等を大きくし、より見やすい内容に改善しました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

（2）の改善策に加え、今後は雇用保険受給者に対して、積極的に窓口マッチングを実施し、希望条件に適合する求人への積極的な応募の働

きかけなど、雇用保険受給者への関わりの強化を目的とした「早期再就職プログラム」を実施します。

また、「障害者の就職件数」については、障害者個々の状況に応じたきめ細やかな職業相談や職業紹介、関係機関との連携によるチーム支援を実施します。

利用者満足度の一層の向上や職業紹介業務の質を高めるため、職員の専門性の向上のための各種研修を実施するとともに、求人票以上の事業所情報の収集、業界動向や職務内容等の知識の習得による専門性の向上の観点から、積極的な事業所訪問を実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求人数が減少傾向にあることから、正社員求人等の良質求人確保のため、事業所への働きかけ強化や非正規雇用の求人の正社員求人への転換等に取り組むとともに、働き方改革や雇用管理改善の取組と合わせ良質求人の確保に努めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,404	2,217	754	90.0%	91.0%	15.4%	16.8%	158	92.7%	5,549	1,026
目標	2,398	2,159	731	90.0%	90.0%	15.7%	17.8%	172	92.1%	5,155	926
目標達成率	100%	102%	103%			98%	94%	91%	100%	107%	110%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク紋別 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、今年度において「就職件数」、「充足件数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」等の目標を達成するための最も重要な取組として、就職を急ぎ求人情報の提供を希望している求職者に対して、積極的な求人情報の提供を行いました。

そのほか、専任スタッフによる求職者担当者制、応募書類の添削指導、面接指導、適性・興味検査などを実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

今まで以上にスピーディーで効率的なマッチングが可能となるよう、受理求人 の 回覧用紙を改良し求人担当と職業相談担当の情報共有を推進する取組を実施しました。求人者、求職者双方のニーズを的確に把握してマッチングを行い、充足に結びつけるツールとしては一定の効果があったと考えております。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

有効求職者数以上に有効求人数が増加するという傾向が続いておりますので、職種によっては求人がなかなか充足しない状況が生じています。求人者の人材確保が早期に達成できるよう「わかりやすく、魅力ある求人 の 受理」、「求職者への正社員求人情報の提供」、「応募者が少ない場合の求人内容の見直しや求人条件の変更に係るアドバイス」、「魅力ある職場づくりへのアドバイス」、「関係する助成金の周知」等について、引き続き求人者へ積極的に発信していきます。

（4）その他業務運営についての分析等

2年連続で就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標を達成できたのは、求職者、求人者に対する上記（1）～（3）の取組の成果と考えております。

また、ハローワークの職業紹介スタッフとして、求人・求職のマッチング能力、キャリアコンサルティング能力は、大切な能力と考えておりますので、スタッフのスキルアップを恒常的に進めるため、外部・内部講師による研修を行います。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

ハローワーク業務改善コンクールに応募した「受理求人の全員回覧によるスピーディーなマッチング機能」による所の独自様式による活用により、部門内の情報共有が図られたことも、目標達成の一因であったと考えております。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	538	467	144	89.5%	97.5%	12.3%	17.4%	44	1,313	206
目標	509	463	116	90.0%	90.0%	13.0%	18.7%	42	1,273	191
目標達成率	105%	100%	124%			94%	93%	104%	103%	107%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク小樽 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、次の事項について、重点的に取組を進めました。

- 1 「就職件数」の目標達成に向けて、求職者の減少傾向が続く中、窓口の活性化を図るため、求人検索機を利用する来客者に対して積極的な窓口誘導を実施しました。また、求職者担当者制を積極的に実施し、よりきめ細かく丁寧な就職支援サービスの提供によるマッチングの推進を図りました。
- 2 「充足件数」の目標達成に向けて、求人部門と職業相談部門の連携を強化するとともに、求人充足会議を毎週開催し正社員求人や開拓求人等から選定した対象求人について、必要に応じて求人内容の明確化や求人要件の緩和を働きかけるとともに、適合する求職者に対しては、職業相談窓口での求人提供、ダイレクトメールによる求人提供を積極的に実施し、能動的マッチングの推進を図りました。また、当所会議室を会場とする会社説明会（ミニ面接会）を職業相談・求人窓口やホームページ、週刊求人情報誌等で積極的にPRすることにより累計で130社の説明会を実施し、求人充足サービスの向上と人材不足分野の人材確保に繋がりました。
- 3 「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成のため、認定日には全員相談や給付制限期間中の来所勧奨を実施し、再就職手当の活用や早期再就職のメリットの理解を促しながら求人情報提供や応募勧奨を積極的に実施し、就職促進に繋がりました。
- 4 「正社員求人数」及び「正社員就職件数」の目標達成に向けて、職員・求人者支援員による事業所訪問により求人開拓・雇用管理指導及び各種助成金の案内を行うことにより正社員求人確保を図り、求職者に対して必要な情報提供を積極的に実施した結果、目標を達成することができました。
- 5 「障害者就職件数」の目標達成のため、管内の高等支援学校や関係機関との連携を強化し、障害特性に応じたきめ細かな就職支援を実施した結果、目標を達成することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- 1 求職者が減少する中、庁舎のほか市内の公共施設や商業施設に配置する週刊求人情報誌に、ハローワークの就職支援メニューや直近の有効求人数を新たに掲載するなど効果的なPRを行い、さらに小樽市の協力のもと週刊求人情報誌の配置先を増やすことでハローワークの利用促進に繋がりました。

- 2 職業相談部門のレイアウト変更により、プライバシーへの配慮、来客者の動線を確保しました。また、訓練情報コーナーを移設し記載台スペースを広げる等の改善を行い、来客者が利用し易いようサービスの改善を図りました。
- 3 求人検索機に60歳以上の高齢者を対象とする求人検索用の特化ボタンを設定することで、シニア向けの求人が探しやすくなりました。

(3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

- 1 ハローワークの更なる利用促進等により窓口の活性化を図る取組を進めます。
- 2 職員・相談員の資質や専門性向上のための研修や事業所訪問の充実に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内においては景気の回復及び人口流失と高齢化による人口減少等により、新規求職者の減少傾向が続いており、人材確保対策が喫緊の課題であるため、求職者のハローワーク利用促進、窓口の活性化、マッチングの強化及び会社説明会など求人充足サービス向上のほか、働き方改革と連動した非正規雇用労働者の正社員転換や労働者の処遇改善が重要となっています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者就職 件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数	正社員 求人数	正社員就職 件数
実績	2,196	2,108	692	84.3%	98.8%	17.4%	19.4%	156	297	5,026	908
目標	2,259	2,184	755	90.0%	90.0%	18.0%	19.2%	156	320	4,782	870
目標達成率	97%	96%	91%			96%	101%	100%	92%	105%	104%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク滝川 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主に就職件数、充足件数の目標達成のために、次の事項について重点的に取り組みました。

基本業務の徹底として

- ・ 求職票表面の完全記入及び職業相談コメントの的確な記録の徹底を図りました。
- ・ 各種支援メニューに係る周知を積極的に実施しました。
- ・ 求人票記載内容の正確性と明確性を確保し、必要により求人条件緩和及び法令遵守の指導を実施しました。また、求人票記載内容以上の事業所情報（画像情報含む）の収集と提供にも取り組みました。

求職者担当者制の取組として

- ・ 求職者の減少が続く中、求職者担当者制を積極的に周知し、ハローワークの利用勧奨を行いました。
- ・ 対象者を念頭に置いて、より意識した職業相談や適合求人の情報提供など積極的に取り組みました。

求人担当者制の取組として

- ・ 求人充足会議において選定した求人について、適合する求職者の登録状況や求職者への情報提供とその反応状況、求人票記載内容の工夫や条件緩和の提案などに取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 給付制限対象者の早期再就職の強化策として、従来からの初回認定時における来所勧奨文の交付・受給資格者証への表示、早期再就職のメリットの説明に加え、新たな取組として、2回目の来所相談について、口頭による来所勧奨を行い、来所につなげる取組を実施してきました。
- ・ 求人情報提供コーナー利用者の窓口誘導として、受付窓口からの積極的な呼び掛けに加え、新たな取組として、「求人情報コーナー利用カード」の掲載内容（文言）を修正し、応募先が決まっていない方でも相談窓口を利用しやすいように努めてきました。

- ・事業所訪問により収集した事業所画像情報を求人検索端末機以外で、“見てもらう”方法として、新規求人票等を所内掲載する際に画像情報も添付し、より詳細な情報を提供する取組を実施しました。
- ・各種支援メニューに係る周知の一環として、各求人端末機収納デスクに名刺サイズの案内札を設置し、窓口相談や職業訓練、就職支援セミナー等の案内を端末機利用者にとって分かりやすいように掲示してきました。
- ・雇用保険被保険者資格を喪失した方で、離職票の交付が無い方に対して、ハローワーク支援メニュー一覧を事業主を通じて配付・周知してもらい、ハローワークの利用促進に努めてきました。
- ・求人充足会議の効率的な運用として、会議進行役が事前に対象求人の応募状況や有資格者数等を把握した上で会議を開催してきたことにより、会議の進行がスムーズとなり、会議時間の短縮、職業相談窓口及び求人担当窓口の空白時間短縮に努めてきました。
- ・人手不足産業に対する支援として、建設・介護に係るPRのためのDVDを待合フロアにて放映し、求職者に情報提供をしてきました。

(3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

- ・求人者に対し、正社員求人の有利性を周知していくため、正社員求人の有効求人倍率等を記載したリーフレット（所独自）を作成し、正社員求人提出を働きかけるよう取り組んでいきます。
- ・充足会議で把握した求人・求職者の声を集約・整理し、求人・相談窓口で情報を共有するとともに、求人・求職者に対する有効な資料として活用することで、特に人手不足産業の求人に対する支援にむけた取組をすることとします。
- ・生涯現役社会の実現に向け、高年齢者の採用について求人者に働きかけるとともに、「高年齢者対象求人情報」を作成・発行することを検討していきます。
- ・人手不足産業に対する支援として、建設・介護以外の各種産業についても、PRのためのDVDの放映ができるよう、入手を含めた環境整備に取り組んでいきます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・求職者が減少する中で、就職件数・充足数・雇用保険受給者の早期再就職件数については目標まで至りませんでした。生活保護受給者等の就職件数や障害者の就職件数などを中心に目標を達成することができました。令和元年度もこのレベルを低下させないよう、進捗状況の管理、分析を行いながら、正社員求人の確保についても取組を強化していきます。
- ・年度当初に全所員を対象とした「PDCA研修」を実施し、目標管理の考え方を始めとした取組についての意思統一を図ってきました。又、「PDCAチェックシート」に寄せられた所員自由記入欄（より良いサービスを提供するために）を基に、各課部門で検討を重ね、

活用できる課題については業務に取り入れてきました。

- ・中長期的な職員の育成を図る観点から、出先機関の若手職員1名を対象に業務研修を実施し、職員の技能向上に役立ててきました。
- ・北海道労働局開催のキャリアコンサルティング研修に研修講師を派遣し、参加者の技能向上と資格取得者輩出に努めてきました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	1,870	1,620	452	86.1%	97.9%	14.2%	16.7%	76	148	4,314	787
目標	1,962	1,741	478	90.0%	90.0%	15.4%	16.4%	43	146	4,103	772
目標達成率	95%	93%	94%			92%	101%	176%	101%	105%	101%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク釧路 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求職者への企業情報・求人情報の提供が重要と考え、当所2階ブースを活用した企業担当者と労働条件などについて直接情報交換ができる、会社説明会を積極的に開催しました。

また、求人検索端末へ「ハローワークからのお知らせ」ボタンを新設し、北海道や釧路市の企業説明会など雇用に関するお知らせを幅広く情報提供しました。

職業相談時に実施しているアンケートにより、求職者ニーズを的確に把握した上で、求人情報提供、応募書類の作成支援、面接支援を実施し、求人・求職のマッチングを図り早期再就職に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

介護分野の人手不足対策として、介護人材確保育成支援事業対象求人情報を集約し一つのファイルにまとめ、待合スペースに配置し自由に閲覧できるようにし広くアピールをしました。

また、日刊及び週刊ほっと求人情報に就職支援メニューや職業訓練情報、職場説明会の開催情報などを掲載し、ハローワークの利用促進を図りました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

高年齢者雇用を促進するため、高齢者専用相談窓口を設置し就職支援を行っていきます。また、企業に対し年齢ではなく個々の能力や知識、スキルによって採用を決めるよう周知・説明を行い、60歳以上の方を対象とする求人情報を一覧表にして定期発行していきます。

（4）その他業務運営についての分析等

昨年と同じく、求人を申し込みしている企業を訪問し、ハローワークと企業間の関係構築を図り、訪問時に得た情報を職業相談時に求職者に提供することにより、求職者の応募の後押しと就職の促進、また、求人の充足を図ります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	3,322	3,148	917	95.3%	97.6%	17.6%	18.9%	383	301	354	7,120	1,259
目標	3,432	3,296	964	90.0%	90.0%	19.5%	19.8%	354	250	261	8,075	1,404
目標達成率	96%	95%	95%			90%	95%	108%	120%	135%	88%	89%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク室蘭 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当ハローワークでは就職の可能性を高めるため、求職者に対して専任の担当者を決めて支援する「求職者担当者制」により、職業相談窓口で選定した求人の提供や郵送、電話による求人情報の提供を行うとともに、応募書類の作成支援や面接指導を重点的に取り組みました。

情報提供にあたっては、早期再就職の希望など求職者ニーズの把握に努め、正社員希望者や高齢者、雇用保険受給者など態様別に分類した対象者リストの作成を行い、専任のスタッフがこれを活用し、積極的に情報提供を行いました。

増加傾向にある高齢求職者の就職支援を重視し、受理した求人について、高齢者の採用実績をまとめリストを作成し、職業相談時に活用する新たな取組を行ったほか、定期的に求人情報紙を作成し、ニーズに沿って対象者へ積極的な配付を行うなど、正社員就職を目指した職業相談の充実と採用の可能性を高める支援サービスの強化に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者を対象として実施したアンケートにおいて、当ハローワークが実施している個別の就職支援メニュー（応募書類の作成支援や面接指導等）については、満足度が全道平均を上回ったものの、各種就職支援メニューの周知・案内のわかりやすさについては全道平均を下回るなど、求職者の評価を得られなかったことから、求職者が一目でわかる就職支援メニューを網羅した一覧形式のメニュー表を作成し、すべての職業相談窓口で掲示するなど、積極的な周知を図ることにより、求職者サービスの改善に努めました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

求職者の減少が続く下で、今後も高齢求職者及び求人の増加が予測されることから、引き続き求人情報の提供をはじめ、就職の可能性を広げるための個別支援を中心とした早期再就職支援に積極的に取り組むほか、高齢求職者の就職支援については担当窓口の開設などより、支援強化を図って参ります。具体的には、専任のスタッフによる個別相談のほか、インターネットを利用していない高齢求職者も一定数見受けられることから、高齢者向けの求人情報（紙媒体）の定期的な作成及びダイレクトメール等による最新の求人情報の提供などの取組を進めていきます。

また、総合案内の移設など、わかりやすいフロアづくりを目指し準備を進めます。

(4) その他業務運営についての分析等

地方自治体や関係機関と連携した「新規高卒者に係る求人要請・企業説明会・就職面接会」、「生活保護受給者等への出張相談」、「障がい者の就職支援」については、利用者等から継続的な実施を要望されていることから、引き続き自治体等との連携を密にし、人材確保、定着指導等に関する取り組みを進めて参ります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	3,071	2,824	705	82.9%	95.3%	16.9%	21.2%	156	185	7,650	1,194
目標	3,306	2,997	727	90.0%	90.0%	18.7%	21.2%	122	148	7,484	1,198
目標達成率	92%	94%	96%			90%	100%	127%	125%	102%	99%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク岩見沢 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点指標においては「マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率」の取組の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、窓口におけるきめ細やかな就職支援のほか、応募書類作成等の支援セミナーを実施しました。

また、年間を通しセミナー受講率向上、窓口マッチング、DMによる求人情報の提供等に取り組んだ結果、目標就職率を達成することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の早期再就職促進を図るため、認定日に受給者全員との職業相談を行っています。また、給付制限期間中の来所勧奨の強化、求人検索に来所した求職者にアンケート活用による窓口誘導、積極的なマッチングによる情報提供を強化しました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

求人票の完全記入の徹底はもとより、画像情報等求人票以上の情報提供に努めます。また、求人検索パソコン利用者向けアンケートを見直し、人手不足分野に対する就職希望等を確認し、希望がある場合は該当分野の求人情報を提供することで、人手不足分野の充足強化にもつなげていきます。

（4）その他業務運営についての分析等

求職者の減少や、充足に至らない求人が増加している現在の雇用情勢下においては、求人充足を念頭に置いた「訴求力のある求人確保」が重要であり、求人開拓、雇用管理改善指導等あらゆる機会をとらえ求人者に働きかけ、求人内容の充実に努めていきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,459	1,319	479	88.9%	92.9%	16.3%	16.1%	92.1%	3,941	651
目標	1,710	1,511	478	90.0%	90.0%	17.0%	18.0%	92.1%	4,026	690
目標達成率	85%	87%	100%			95%	89%	100%	97%	94%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク稚内 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「求人を出しても応募者がいない」と困っている事業所の充足期待度を高めることを本年度の重点課題の一つとし、

①事業所を訪問して人材イメージの明確化、②求人内容のブラッシュアップ、③所内充足会議でのマッチング、④「企業PRシート」の作成、応募前事業所見学の勧奨、⑤企業説明会への参加要請、などに取り組んできました。

これらの取組を丁寧に説明していく過程で、求人者の意識に変化が見られ、②以降の取組にも賛同する事業所が増えてきました。今後も事業所の詳細情報・採用本気度を、求職者に丁寧に繋いでいきます。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・パソコンに苦手意識があり求人情報検索端末を利用できない方が、じっくり求人を探せるように、求人票の紙媒体での情報提供を再開しました。職種・地域別に分けて配架しています。
- ・求人情報検索端末の条件設定を改善しました。特集項目を活用し、「送迎あり」や「60歳以上歓迎」、「全部不問」等の求人検索が容易になりました。
- ・「職場PRコーナー」を設け、対象企業の情報公開（企業PRシート）を始めました。
- ・ハローワークを会場とした企業説明会を始めました。これまで建設や介護・福祉の事業所が実施しています。各回とも参加者が多く、参加者からは「他の会社の説明会もあれば参加したい」との声をいただいています。
- ・仕事を探している方との接点となる週刊求人情報誌に、ハローワークからのお知らせ情報の掲載を始めました。今後予定されている職業訓練や就職支援セミナー、職場見学会、企業説明会等のイベント情報等を載せています。
- ・12月～1月の期間限定で、当該期間の応募者に「就職祈願お守り」配付キャンペーンを実施しました。スタッフ手作りのお守りはとても好評で喜んでいただきました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

- ・交通便の悪い町村に居住する求職者へのサービス強化

当所の管轄は離島を含む広大な地域であり、ハローワークへの来所自体が困難な方の就職（応募）機会を確保するため、これまで以上に電話相談や通信紹介の利用を進めていきます。併せて、各自治体との連携・協力のもと、役場内で地元の求人票を閲覧することができるよう調整していきます。

・就職支援メニューの拡大について

当所では、就職支援セミナーを例年3回実施しており受講者の感想は概ね好評です。ただ日程が合わず受講できなかった方も散見されるため、今後開催回数を増やし、より受講しやすくなるよう検討します。

（４）その他業務運営についての分析等

主要指標である、就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数については、今年度も目標数値を達成しました。引き続き、一人一人のお客様のニーズに応え、満足した結果を得られるようスタッフ一同尽力していきます。そのためにも、親身に、そして綿密にご相談させていただき、互いの信頼関係を大事にしていきたいと思えます。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついたフリ ーター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	900	847	222	95.7%	95.7%	14.5%	18.0%	105	1,691	220
目標	807	739	190	90.0%	90.0%	15.1%	19.4%	100	1,359	167
目標達成率	111%	114%	116%			96%	92%	105%	124%	131%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク岩内 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・平成 30 年度は、前年度から継続して取り組む項目について、ミーティングや連絡会議を中心に、前年度の取組内容の検証を行いながら、マッチングの向上につながる見直しを行いました。
- ・特に、平成 30 年度においては、当初から求職者数の減少が推測されていたことから、能動的マッチングの取組や求人充足検討会議の取組についての課題の整理を改めて行い、平成 30 年度の取組に反映させました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・マッチングによる求人情報提供については、年度の途中において求職者に対する紹介率が目標に比べて下回っていたことから、具体的な目標値の設定等の改善を行いました。
- ・雇用保険受給者の早期再就職の取組では、早期再就職メリットの説明については、認定時の相談等で適宜行っていましたが、加えて、「早期再就職のメリット」を記載したポスターを新たに作成し、来所者が待っているスペースを中心に掲示し、早期再就職の意欲喚起に努めました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

- ・求職者の大幅な増加が見込まれない中でマッチング力を高めるためには、これまで取り組んできた各支援の継続と更なる充実が必要と考えています。特に職業相談窓口の活性化を図る必要があることから、求職者担当者制について、それぞれの支援状況の分析を行い、必要な改善を図り、就職率の向上を図りたいと考えています。
- ・求人企業を訪問し、関係構築を図りながら得た情報を相談時に活用し、求人充足を図りたいと考えています。

（4）その他業務運営についての分析等

少子・高齢化が進む中で、管内各町村では過疎化が進み地方創生への期待が大きいため、北海道後志総合振興局、後志教育局と連携し、高校生の地元就職促進を目的とした合同企業説明会の開催や早期離職防止に向けた雇用要請等を実施しました。引き続き連携し効果的な取組を行い

たいと考えております。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対 する紹介率	学卒ジョブサポータ ーの支援による正 社員就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	926	883	216	89.6%	89.9%	12.3%	17.5%	41	1,961	273
目標	918	874	218	90.0%	90.0%	14.8%	19.9%	30	1,917	239
目標達成率	100%	101%	99%			83%	87%	136%	102%	114%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク留萌 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

【新卒者の就職率 100%】

平成 31 年 3 月 31 日時点で 100%を達成することは出来なかったが、31 年 4 月末で 100%を達成することが出来た。

【障害者の就職件数】

障害者の特性を踏まえて、障害者就業・生活支援センターなどの各関係機関とのチーム支援に取り組んだ結果、目標を上回る 20 件の就職数を確保することができた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

【60 歳以上応募歓迎求人情報誌の発行（H30. 9）】

65 歳以上の求職者が大幅に増加していることから、高年齢求職者の紹介率を高めるために、求人情報誌を発行することとした。

【履歴書・職務経歴書作成支援サービス】

就職に直結する応募書類の作成支援を積極的に実施した。

【事例検討会】

窓口対応のスキルアップを目指し、事例検討会を実施し共有を図った。

【再就職手当リーフレットの配付】

再就職手当の支給額について、個々の求職者に対応したリーフレットを作成し、初回講習時に配付した。

【求人票掲示版の掲載方法変更】

「最新求人」、「リフレッシュ求人」、「ピックアップ求人」と項目ごとに整理し掲載することとした。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

平成 30 年度は新規求職者数が 7 年振りに増加に転じ、その一方で新規求人数が対前年度比 10.5%減と減少した。そのため、事業所に対する積極的な事業所訪問など、当所から積極的に接触を図る取組を行い、求人を確保していきたいと考えており、とりわけ正社員求人確保に

ついて一層力を入れていきたい。

(4) その他業務運営についての分析等

平成31年1月に管内人口が4万人を割った。

管内には自衛隊・振興局（北海道の出先機関）などの公的部門、第一次産業の漁業関連に従事する者が多く、人口に占める稼働できる労働力は少ない。

そのような状況の中で、新規求職者数が増加傾向にあるが、高年齢者求職者の増加分が大きいので、高年齢求職者の就職に対するニーズを的確に把握することが重要であると考える。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	障害者の 就職件数
実績	557	509	115	97.9%	98.9%	12.2%	16.7%	942	160	20
目標	552	494	128	90.0%	90.0%	11.8%	17.3%	1,005	148	18
目標達成率	100%	103%	89%			103%	96%	93%	108%	111%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク名寄 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所は、正社員求人割合が全道平均より低いことから「正社員求人確保」、「正社員就職件数の引き上げ」の取組に重点をおきました。具体的には、求人提出の際に最近の雇用情勢（求職者（仕事を求める方）を超える求人があり「売り手市場」であることなど）を求人事業主に説明した上で、正社員以外の求人であれば「正社員」としての提出をお勧めする取組を行いました。

また、所内会議（求人担当者と職業紹介担当者による早期応募・早期採用に向けた打合せ）において、「正社員求人」を中心に対象求人として扱い、求職者へのダイレクトメールや求人内容の見直しなどを行いました。

その結果、正社員求人数は1,854（目標1,628）、正社員就職件数は304（目標250）となり、両項目とも目標を達成することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人票以上の事業所の情報や魅力を伝えるため、求人事業主の協力のもと職場環境や作業風景を写真撮影し「ピックアップ求人」として求人票とともに所内掲示するなどして、求人者サービスの改善に取り組みました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

ハローワークスタッフ（求人・職業紹介担当）のマッチング能力向上のため、計画的に事業所訪問に取り組み、求人事業主とハローワークとの関係構築に努め、求人者ニーズの把握と充足（就職）支援を一層促進していきます。

（4）その他業務運営についての分析等

多くの自治体で人口減少と高齢化の課題を抱える中、自治体や商工会議所等と連携を図りながら、UIJ ターンの取組や良質求人確保（求人内容適法性や正確性の確保）に努めます。

また、ハローワークから遠距離にある枝幸町、浜頓別町、中頓別町、中川町、音威子府村を中心に、郵送による職業紹介に取り組みます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	学卒ジョブサ ポーター支 援による正 社員就職件 数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	1,034	919	205	84.8%	88.6%	14.1%	19.1%	65	1,854	304
目標	960	873	194	90.0%	90.0%	14.4%	17.8%	57	1,628	250
目標達成率	107%	105%	105%			97%	107%	114%	113%	121%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク浦河 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

雇用保険受給者の早期再就職支援に重点を置いた取組を実施した。具体的には、認定日における雇用保険受給者全員との職業相談に備え、1週間前に認定対象者の把握とその時点でのマッチング求人の選定を行い、郵送等による求人情報の提供を行っている。更に、認定日前日に再度認定対象者の確認を行い、最新求人でのマッチングを行い認定当日に提供することとしている。マッチング求人がない求職者であっても、セミナーや訓練等の情報提供を行うとともに、求職者の就職意向確認、求人状況等を説明のうえ再確認するなど、要件緩和の可能性を意識した相談を行うこととしている。

これらの取組により、就職件数等の目標達成につながった。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

前日受理求人（更新求人を除く）について、相談員を含めた相談部門全員参加による求人充足会議を毎日開催。求人内容の確認や求人者の意向等の共有により、円滑に求人情報の提供が行われた。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

能動的なマッチングを強化する。具体的には、求人者、求職者のより深いニーズの的確な把握とともに、要件緩和の可能性を確認することで、求人者、求職者の要件緩和指導をスパイラルに行い、マッチングを進める。

（4）その他業務運営についての分析等

求職者の減少が続き、求人倍率が高い状況が続いている。求職者一人一人に対して、どのような支援を行うことで就職の可能性が高まるのか、相談部門全体が一つのチームとして支援を行っていきたい。

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員求人 数	正社員就職 件数	学卒 JS の 支援による 正社員就職 件数
実績	921	873	186	93.9%	93.4%	13.1%	17.5%	2,096	247	57
目標	912	860	140	90.0%	90.0%	14.1%	19.2%	1,946	220	38
目標達成率	100%	101%	132%			92%	91%	107%	112%	150%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク網走 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では新規求職者数の減少傾向が続く中、ハローワーク窓口の利用促進とそれに対応するマッチング機能の強化が最重要と考え、以下の項目について重点的な取組を行いました。

- ハローワーク窓口の利用促進の取組として、ハローワークのサービスを管内に広く周知するために、ハローワークガイドと週刊求人情報の配置先（公共施設等）の新規開拓を行いました。
- 職業相談部門の全ての窓口で職業相談・紹介と求人受理の両方の業務を行うことで、求職者・求人者双方のニーズを把握・共有しており、さらに把握したニーズを生かして、求職者には適合求人の積極的な提供、求人者には求職者ニーズに沿った求人条件の緩和の提案等を行いました。
- 雇用保険受給者を中心として、求職者担当者制によるきめ細やかな職業相談や認定日来所時の積極的な適合求人の提供、応募書類の作成支援や面接トレーニングなどの各種支援を積極的に行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワーク庁舎外でのハローワークサービスの周知の強化を図るため、ハローワークガイド及び週刊求人情報の配置先の新規開拓を進めました。加えて、管内自治体のU I J ターンの事業の一環で自治体ホームページでの当所の週刊求人情報の掲載に協力するとともに、その週刊求人情報等の掲載先をQRコード付きのリーフレットを作成し周知を行うことで、ハローワーク窓口の利用の促進及び求人の応募の喚起を図りました。

また、庁舎内においては、週刊求人情報に加えて月1回発行の「正社員求人情報」及び一定のテーマを定めた「ピックアップ求人情報」を作成、掲示、配架をすることで、求職者の様々なニーズに対応した求人情報の提供を行っており、特に平成30年度においては「ピックアップ求人情報」について、介護・保育関係などの人手不足分野の求人情報を重点的に作成することで、人手不足分野の求人に対する紹介率の向上や充足数の向上に努めました。

(3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

平成 30 年度においては「求人に対する紹介率」と「求職者に対する紹介率」が目標に達せず低調に推移していることから、紹介率を高めることを目的として、求人条件の緩和指導の強化や求人担当者制及び求職者担当者制などの個別支援によるきめ細やかな各種支援サービスの提供に努めていきます。加えて、紹介率の向上には相談窓口の利用促進が必要と思われるため、引き続きハローワークガイド及び週刊求人情報の新規設置先の開拓を継続するほか、庁舎内においても求人検索パソコンでの案内表示や掲示物等で窓口利用を勧奨する取組を行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

少子高齢化により求職者が減少し、求人が人手不足等により増加している状況にあり、その結果、充足しない求人が増加することが予想され、求人者への支援を中心に取り組む必要がある。そのため求人票の記載内容等の充実を図るとともに、的確な職業紹介や積極的なマッチングを実施するため、窓口担当者の相談技法の向上や求人者サービス技法を向上させるべく、各種の研修受講による資質の向上に努めていきます。加えて、求人者や求職者への担当者制などの個別支援を強化することにより充足数及び就職数の増加につなげる取組を実施していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対す る紹介率	求職者に対 する紹介率	障害者の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	666	625	209	96.2%	94.0%	13.8%	15.5%	62	1,514	236
目標	592	577	184	90.0%	90.0%	15.6%	16.4%	28	1,485	193
目標達成率	112%	108%	113%			88%	94%	221%	101%	122%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク苫小牧 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者数が減少傾向にある中、就職件数、充足数などの目標を達成するため、求職者については、前年度に引き続き、求職者担当者制によるきめ細やかな個別支援に重点的に取り組んだほか、雇用保険受給者の方については早期再就職を促進するため、失業認定日における雇用保険受給者全員との職業相談及び給付制限期間中の呼出相談の実施、正社員求人を中心とした求人情報の提供、応募書類の添削指導や面接選考に向けた助言・指導などを積極的に実施しました。

また、求人者については、管内の雇用失業情勢等を図説した分かり易いリーフレットを作成・活用し、より求職者ニーズにマッチした求人の開拓や求人条件の緩和等を積極的に展開するとともに、求人担当者制の実施などによる求人充足の促進を図る取組についても、積極的に実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

高年齢者の方々の利用が増加している状況を踏まえ、当所に設置しています求人情報検索パソコンの検索項目に「定年を迎えた方歓迎求人」を追加し、高年齢者の方々に対する求人検索時の利便性の向上を図るとともに、求人情報検索パソコンの画面上に当所の就職支援メニューを表示し、職業相談窓口等の利用促進にも取り組みました。

また、求人者の方々には、求人受理後、早期に求人充足となる求人の特徴等をまとめた資料を作成・配付し、求人条件の緩和等に関するアドバイスにも精力的に取り組みました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

新規求職者数の減少傾向が続く予想の下、求職者の方々とのより丁寧・きめ細やかな職業相談に心掛け、積極的な求職者担当者制などにより相談件数及び紹介件数の向上を意識しながら、職業相談窓口の活性化に取り組んで参ります。

また、求人充足サービスの充実を図るため、求人充足会議の充実・強化などに積極的に取り組むとともに、求人の充足可能性を高める積極的・能動的な求人者サービス等を展開して参ります。

(4) その他業務運営についての分析等

求職者数が減少する中、的確な求職者ニーズの把握に努め、求職者担当者制などによる丁寧かつきめ細やかな個別支援、雇用保険受給者に対する効果的な就職支援メニューの提供などにより、職業相談窓口の活性化を図りながら、正社員就職を中心とした就職促進に努めることに尽力したいと考えております。

また、雇用失業情勢の改善により、求人数の増加傾向が続く中、充足されない求人が増加していることから、分かり易く魅力的な求人内容への見直しや、求人条件の緩和等を積極的に助言・提案するなど、求人の充足可能性を高める取組にも努め、求人の充足数向上に繋げていきたいと考えております。

なお、新規求職者数が減少傾向で推移している中ではありましたが、平成30年9月6日に発生しました北海道胆振東部地震の影響により、平成30年9月分の一般職業紹介状況のうち、新規求職申込件数、職業紹介件数、就職件数の減少幅が大きなものとなり、これが平成30年度計の実績にも影響を与えた一要因と考えております。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	基幹産業求 人充足率
実績	3,029	2,901	963	85.0%	86.9%	16.8%	16.4%	116	283	10,114	1,426	42.4%
目標	3,244	3,191	942	90.0%	90.0%	19.2%	17.4%	80	261	9,426	1,461	43.1%
目標達成率	93%	90%	102%			87%	94%	145%	108%	107%	97%	98%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク根室 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者数の減少傾向が続く中、「雇用保険受給者の早期再就職に資する取組の実施」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、雇用保険受給者に対する個別支援について積極的に取り組みました。

具体的には、4週間おきに来所する雇用保険所定認定日に全員職業相談を実施し、求職者のニーズに応じた各種支援サービスの提供ときめ細かな職業相談を求職者担当者制により展開しました。また、初回認定日に事前マッチングによる求人情報提供を行うことで、2回目以降の認定日における求職者の就職意識が高まり、効果的な就職支援につながりました。

そのほか、求人者サービス向上のために求人充足会議を毎日開催し、登録求職者との積極的マッチングを展開するとともに、必要に応じて、求人票記載内容の見直しや求人条件緩和の提案等により早期充足につなげました。

これらの取組の結果、平成 30 年度の実績では、主要指標である就職件数、充足数、雇用保険受給者の早期再就職件数で目標値を上回り、特に、雇用保険受給者の就職件数では、前年度比 33.3P 増の 344 人となりました。さらに、受給資格決定数に占める就職件数の割合である「就職率」では、前年度比 12.0P 増の 44.4%となり、北海道内のハローワークの中で1番目の数値となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

高齢者や子育てを行っている求職者のマッチングを進める取組を実施しました。具体的には、事業所訪問時や求人受理時に高齢者や子育て中の方の採用についての情報を積極的に収集しました。収集した情報は、職員間で共有する他、求人情報端末機において「60歳以上の応募歓迎求人」、「子育てと両立しやすい求人」ボタンを設定し、求職者自身が容易に情報を収集することで、早期再就職の促進を図りました。

また、人手不足分野である介護職の人材確保対策として、「職種別求人マップ」を作成し、自由に持ち帰りできるよう配架したほか、来所を促すために、窓口利用のメリットが記載された所独自に作成したリーフレットを配付するなど工夫したことで、効果的な相談窓口の利用につながりました。

これらの取組の結果、平成 30 年度の実績では、新規求職者数に占める紹介件数の割合である「紹介率」では、前年度比 4.3P 増の 92.0%、新規求職者数に占める就職件数の割合である「就職率」では、前年度比 1.2P 増の 45.4%とマッチングの精度を高めることができました。

(3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

人手不足状況が今後も継続することが見込まれる中、求人者サービスを充実させる取組が重要であることから、毎日実施している充足会議において、より積極的なマッチングを展開するために、求職者の詳細なニーズ把握をもとに、求人の紹介可能性を高められるよう魅力ある求人公開のための提案や積極的な事業所訪問による情報収集を実施し、顔の見える信頼関係を構築します。

(4) その他業務運営についての分析等

人手不足分野の求人者サービスの充実や利用が増加している高齢者に対する就職支援の拡充が必要であるほか、雇用管理の改善による職場定着の取組が望まれています。

ハローワーク利用のメリットを広く周知して、ハローワークの利用者を拡大するとともに、求人の職場環境や求人票に記載された内容以上の情報を求職者に提供するなど、利用者ニーズの的確な把握と満足度向上の取組に努めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者就職 件数	正社員求人 件数	正社員就職 件数
実績	1,230	1,117	302	92.5%	95.8%	14.7%	20.2%	69	2,507	404
目標	1,135	1,032	244	90.0%	90.0%	15.0%	20.3%	55	2,198	304
目標達成率	108%	108%	123%			98%	99%	125%	114%	132%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク千歳 就職支援業務報告（平成 30 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数、充足数などの目標を達成するため、求職者担当者制によるきめ細やかな個別支援を重点的に取り組み、求人情報の積極的提供、応募書類の添削指導や面接に向け助言・指導などを積極的に実施しました。雇用保険受給者に対しては、失業認定日における受給者全員との職業相談、給付制限期間中の呼び出し相談を行い、求人情報の積極提供等を行うなど早期再就職の促進に努めました。また、相談件数・紹介件数が減少しているため、求人検索コーナー利用者の相談窓口利用率を高めるために、求人検索コーナーの取り扱いマニュアルや掲示スペースでの周知、受付での相談窓口利用を促す声掛けの徹底を行いました。

求人については、求職者が仕事内容を具体的にイメージできるよう求人票の仕事内容欄の記載の充実を図るとともに、求人充足会議も充実を図り求人充足を促進する取組を実施しました。

また、『所重点指標の目標設定』において選択した、『生活保護受給者等の就職件数』と『マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率』の達成のために、地方公共団体との連携により、生保における出張相談の拡充、とマザーズ事業におけるセミナーの充実を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所管内において求人倍率の高い地域と低い地域があることから、その低い地域の関係機関及び関係団体に働き掛け傘下企業に対し求人開拓を実施するなど、その地域に特化した求人開拓の拡大の取組を実施しました。

雇用保険説明会・初回講習において、求人提出企業の採用担当者等からの 15 分程度の講話を行っていただいております。「履歴書などの応募書類を確認するときの着眼点」、「面接で重視していること」などの採用現場の生の声を求職者に伝えることで、再就職への意識啓発を実施しています。

人手不足分野等の人材確保の対策として、当所 2 階会議室において会社説明・面接会を実施していますが、利用促進を目的に実施要領を整備し統一化を図った中で、庁舎内の掲示、事業所訪問時にリーフレットを配布するなど周知を実施しました。

また、基本業務の徹底として、応募者が不採用となった場合に、求人者から伝えられた不採用理由を以降の職業紹介に活かす、また、求人者が求める人材イメージ等も把握し、求人票の内容と合わせて活用するよう努め、認定日に受給者全員を対象として行っている職業相談

の内容の充実に努めました。

(3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

平成 28 年度以降求職者は減少しており、この傾向は平成 31 年度においても続くと思われ、求職者に対し十分な職業相談の時間を確保できることから、今まで以上に充実した窓口相談を行ったり、担当者制による個別支援を充実させたいと考えています。そのために必要となる職員の専門的知識やカウンセリング能力の向上も図っていき、また、求人者の満足度を向上させるため、窓口職員の知識・接遇の向上に努めたいと考えています。

(4) その他業務運営についての分析等

自治体等と連携した「高校生のための職業相談会」、「人手不足分野での就職相談会」、「生活保護受給者等への出張相談」等については、継続的な実施を要望されていることから、引き続き自治体等との連携を密にし、人材確保等に関する取組を進めます。

また、雇用失業情勢の改善により有効求人倍率が 1 倍以上続く中、充足されない求人が増加していることから、わかりやすく魅力的な求人内容への見直しや求人条件の緩和を提案するなど、求人充足サービスの充実に努め、早期の求人充足を図ります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

平成 30 年 9 月の北海道胆振東部地震の影響を受け、9 月の次の各項目が前年同月比で「新規求職申込件数」13.3%減、「新規求人数」9.7%減、「紹介件数」29.9%減、「就職件数」22.7%減、「充足数」19.4%減の状況でありました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給者 等の就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	2,057	1,940	875	89.8%	96.0%	16.1%	15.8%	36	94.4%	5,674	920
目標	2,122	1,982	842	90.0%	90.0%	17.4%	16.2%	43	92.1%	5,174	857
目標達成率	96%	97%	103%			92%	97%	83%	102%	109%	107%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率